



濟美

学校の教育目標

地域に学び、個性豊かにたくましく、
自ら学び行動する子供を育てる

種を蒔く^ま 風を吹かせる

校長 寺島 紀子

去る2月、本校でプロの講談師の方が6年生に向けて出前公演をしてくださいました(コーレ「パフォーマンスアーツのエントランス『講談』アウトリーチ事業」)。その前後に、私は講師の宝井琴鶴さんに「なぜプロの講談師になったのか」と質問してみました。すると「子供の頃に習った講談が楽しかったから」と教えてくださいました。聞くと、琴鶴さんは大学卒業後に一般企業に就職したものの、一念発起し、プロの講談師となるための修行を一から始めたとのことでした。琴鶴さんの思い出の講談教室はいわゆる習い事で、学校の授業等ではなかったようですが、それにしても小学生の頃の体験が身体の中にゆっくりと「種」のように生き続け、20年以上もの時を経て「新たな夢」として芽吹いたという話には感動を覚えました。

考えてみると、小学校の時代は、子供たちにとって実に様々な「学びの種」「好奇心の種」「夢の種」が蒔かれ続ける時期です。種の中には、すぐに芽吹くものや地に根付いて育ち始めるものもあれば、もうすっかりその存在を忘れかけた頃になって、ふと地中から小さな芽を出すものもあるでしょう。

教師は、日頃から子供たちの「心の土壌」を耕し、授業を中心とするあらゆる教育活動の場でタイミングをみてちょうどよい種を蒔きます。時には一斉にではなく、個々の子供に適した、その子のためだけの種の場合もあります。残念ながら固い殻のまま終わる種も多いかもしれませんが、それでもなお、一つでも多くの種が芽吹き成長することを願いながら、見返りを求めすぎずに今日もまた種を蒔く、それが教師の務めであろうと思っています。

さて、一方「教師は風のようなもの」とも言われます。地域の中で樹木のようにすくすく育つ子供と、その成長を太陽のように温かく見守りながら慈しむ保護者や家族の方々に対して、「学校の先生」はわずか数年だけその学校にとどまり、いつしか去っていく、まさに風のような存在です。しかしそれならばせめて、その学校に勤務する数年間は、目の前の子供たちにとって心地よい風を吹かせる存在でありたいと、私は常々思っています。ぽかぽか温かい風、ほんのりとよい香りがする風、…。吹き去った風の姿は消えてしまったとしても、「あのときはなんだか楽しかったな」「みんなで頑張っていたな」「あのときの思い出を大切にしたいな」という漠然とした記憶が、子供にとって後々の心の支えになればと願っています。

早いもので令和7年度も間もなく終わります。日々成長著しい目の前の子供たちの姿により刺激を受けながら、教師としての自らの在り方を振り返る毎日でした。巣立ちと別れの季節となりますが、これからも、一人一人の教職員がそれぞれの場所で子供たちの心により種を蒔き、心地よい風を吹かせ続ける存在でありたいと思います。

保護者及び地域の皆様には、この1年間、本当にありがとうございました。今後とも、村椿小学校の学校運営及び教育活動に温かいご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

アクションプランの結果より（概要）

今年度、本校で重点課題として取り組んだ「挨拶の推進」「よく考える子の育成」「体力の向上」における学校独自の達成目標（アクションプラン）の結果(概要)をお知らせします。

【アクションプラン1＝挨拶の推進】

☆達成目標

強調週間を設け、時と場に応じて気持ちのよい挨拶『あいてを見ていつでも さきに（自分から）つたえる（場に応じた声の大きさで）』を1日5回以上できる児童の割合が全体の90%以上になることを目指す。

○具体的な取組

- ・計画委員会を中心として、月・水・金曜日の朝にあいさつ運動を行いました。気持ちのよい挨拶をしている児童を「さわやかあいさつさん」として昼の放送や掲示板で全校に知らせました。2学期からは、「あいさつカード（スタンプカード）」の取組を開始したことで、あいさつ運動に参加する児童が増えました。また、村椿更生保護女性部と一緒に行ったあいさつ運動やペア学年で行った「さわやかあいさつ運動」では、いつもより張り切って元気に挨拶する児童の様子が見られました。
- ・心温まる言葉や行動を記したカードを児童玄関前の「あったか言葉の木」に掲示し、昼の放送で紹介する活動を実施しました。カードは月に1度のペースで各学級に人数分配布し、全校で継続して取り組みました。また、昨年度に引き続き、毎月25日を「にこにこの日」として、計画委員会作成ののぼり旗を児童玄関に掲げ、放送で知らせて意識の浸透を図りました。また、2月には「あったか家族大作戦」として、家庭で挨拶や言葉遣いについて振り返る活動を実施しました。
- ・「名水の里くろべ こどもの権利宣言」を全校で確認しました。また、12月には計画委員会の企画運営で「人権集会」を実施し、「人権意識チェック表」を活用したセルフチェックを行い、相手の気持ちを考えて行動することの大切さについて全校で考えました。
- ・毎月の「生活アンケート」と毎学期の「ふれあい週間（個人面接）」、年2回の「i-check」を実施したことで、児童の思いや悩みを早期に把握し、学級指導や個別対応をすることができました。また、定期的に生徒指導情報交換会を行うことで、全教職員体制での生徒指導を行うことができました。

○達成度：B（ほぼ達成した）

- ・強調週間中の「時と場に応じて気持ちのよい挨拶を1日5回以上できた」児童の割合は、全校平均で、1回目86%、2回目82%で、目標の90%を4～8%下回りました。
- ・年間を通して行った来校者や校外学習先の方々へのアンケート結果では、「自分から進んで気持ちのよい挨拶をしていた」の項目で、「よくしていた」「概ねよくしていた」との評価が90%と、よい結果となりました。

○次年度への課題

- ・挨拶について、今年度の達成目標を昨年度の80%から90%に引き上げて取り組んだ結果、目標には届かなかったものの、昨年度並みには達成できました。全体的に児童の自己評価は高めですが、自発的な挨拶の面ではまだ課題が見られます。また、個人差が大きいと感じます。計画委員会が中心となって方策を練り、児童が自分事として問題を捉えられるようにしていきたいと考えます。
- ・学校では多くの児童が挨拶をしていますが、保護者アンケートによると家庭や地域ではそうとも言えないという意見がありました。次年度は、より一層、家庭との連携を図り、具体的な取組を検討して実施していきたいと考えます。

【アクションプラン2＝「よく考える子」の育成】

☆達成目標

強調週間を設け、自分の考えを表し（発言、ハンドサイン等）、伝えることができる児童の割合が全体の80%以上になることを目指す。

○具体的な取組

- ・「相手に伝わるように話す」「考えながら聞く」ことを意識させるために、各教室の掲示物「声のものさし」を一新し、より具体的に示して村椿小の学習ルールとして全校統一して指導しました。
- ・授業において、全員参加を目指した「発表の機会を増やす取組」や、児童の興味・関心を意欲の高まりに変換させた「発言したくなる取組」、ペア・グループ活動に話型を取り入れた「発表への自信をもたせる取組」等、各学年の児童の実態に応じて工夫を講じました。
- ・伝統行事である玉椿集会に加えて、全校の前で発表する機会（校長杯短歌大会、各学年からの音読や英会話の発表、作品掲示、なわ跳び名人の技披露、有志による季節のコンサート等）を増やしたことで、より多くの児童が様々な面でよさを発揮することができました。回数を重ねるごとに発表に意欲的な児童が増え、昨年度よりも多くの児童が、大勢の前で自分を表現する心地よさを味わったようです。「自分らしさ」「自分のよさ」に改めて気付いたり、一步上の自分に向かってチャレンジしようとしたりする児童の姿も見られました。

○達成度：A（達成した）

- ・「できるようになったかな」チェック週間（7月と11月に実施）において、2回目の11月の調査では、できていた（5日のうち4日以上が○だった）児童の割合は、「先生や友だちの話を、相手の方を見て、最後までよく聞くことができた」が92%、「学習中に、自分の考えを表し（発言、ハンドサイン等）、伝えることができた」が84%でした。この2項目について、いずれも目標の80%を上回りました。
- ・年間を通して行った来校者や校外学習先の方々へのアンケート結果では、「話す人の方を見て話を聞いていた」「進んで発言しようとしていた」の項目で、「よくしていた」「概ねよくしていた」との評価が90%と、よい結果となりました。

○次年度への課題

- ・「聞くこと」「話すこと（表すこと）」共に目標の80%を達成しましたが、「話すこと（表すこと）」は「聞くこと」より8%程度低く、より向上を目指すための方策を講じていきたいと考えます。
- ・児童の学習意欲の高まりと安心して発言できる環境は、活発な自己表現を生み出すと考えます。引き続き、教師の授業力向上と温かな学級風土づくりに努めていきます。
- ・名前を呼ばれたらはっきりと相手に届く声で返事をする、気持ちのよい挨拶をするなど、日常生活から相手を意識して声を発することが大切です。日頃からの取組が効果的でありますので、学校だけでなく、家庭や地域からの協力をお願いしていきたいと考えます。

【アクションプラン3＝体力の向上】

☆達成目標

日頃から体力の向上に取り組み、学期ごとに行う体力テスト（重点項目：握力、上体起こし）において記録が伸びた児童の割合が80%以上になることを目指す。

○具体的な取組

- ・週2回の業間運動「GO!GO!つばきッズ」に継続して取り組みました。晴れた日には、全校で3分間走を行いました。これまでは雨天時に業間運動をしていませんでしたが、体育館でサーキット運動に取り組みました。また、2学期後半からは、なわとび運動にも取り組みました。
- ・体育や「GO!GO!つばきッズ」の準備運動として、握力を強化するためのグーパー運動や上体起こしの運動を取り入れました。
- ・学校保健委員会では、黒部市体育協会より講師を招き、体力向上について講演を行っていただきました。心と体を整えるストレッチ方法について実践を交えながら学ぶことができました。
- ・体育委員会が企画した「なわ跳び集会」を実施し、代表児童たちの演技披露を通して運動意欲の向上を図りました。

○達成度：C（あまり達成できなかった）

- ・「できるようになったかな」チェック週間（7月と11月に実施）において、今年度から「体力づくり」の項目を設け、体育の学習を除き、1日30分間以上体を動かしたかどうかを調査しました。7月は84%、11月は89%と、概ね30分間以上の運動習慣があることが分かりました。2学期は暑さが落ち着き、歩いて登下校したり、休み時間に運動をしたりする児童が増えたことが原因と考えられます。
- ・1学期の体力テストから記録が伸びた児童は、握力67%、上体起こし76%となり、達成目標の80%には届きませんでした。

○次年度への課題

- ・6～9月は熱中症警戒指数が高く、業間運動を行うことができない日が続きました。天候や気温に左右されずにできる運動を検討し、日常的に実践していくことで、体力向上に繋げていく必要があります。今後も、直近の体力テストの結果等を参考に、課題となる項目の記録向上に繋がる運動を意図的に実施したいと考えます。
- ・児童が運動したくなる働きかけや環境の準備に力を入れたいと考えます。本校には、グラウンドに鉄棒や登り棒がありますが、利用している児童はあまり見かけません。体育科の授業の中で遊び方を教えるなどして、児童の意欲を高めていく必要があります。
- ・運動習慣の意識向上には、家庭との連携が大切です。学校保健委員会への保護者の参加率を上げるために、日程や周知方法を検討していきたいと考えます。

第3回学校運営協議会を開催しました 2月25日（水）

第3回目は、「6年生を送る会」「玉椿ミーティング」を参観していただいた後に学校運営の経過報告と、学校と地域の協力体制について協議がなされました。詳細は以下のとおりです。

議題1 今年度の学校運営を振り返って

<アクションプラン1 挨拶に関して>

- ・街頭でのあいさつ運動や交通安全運動の様子を見ると、子供たちが必ず挨拶をしていることはすばらしいと感じている。自発的に挨拶ができるように小さな子供のころから習慣付けることが大切である。そのためにも、まずは家庭から率先して挨拶を行うことが望ましい。

<アクションプラン2 学習への取組に関して>

- ・授業や集会での様子を見ると、子供たちが率先して発言をし、自分の気持ちを伝えていたことがすばらしいと感じている。今後も子供たちの興味・関心を高め、子供たちが自ら発言したくなるような取組を継続していくことが大切である。

<アクションプラン3 体力の向上に関して>

- ・握力や上体起こしのような個人差が大きい項目については、なかなか一律に伸びが見られないので、達成目標が高すぎたと考えられる。また、運動は子供にとって得意、不得意があるので、一つの基準だけでなく、その子なりの目標を設定してもよかったのではないか。

議題2 来年度に向けて

- ・学校教育に関するアンケートを見ると、保護者からの好意的な意見が多く、信頼されていると感じた。来年度に向けては、バージョンアップをしてもいいが、まずは今年度の活動を続けていくことが重要と考える。
- ・不要となった制服や体操服を譲渡できる体制を整え、再利用できるようにしたらよいのではないか。市内の他校では PTA 主催で年2～3回実施していると聞いている。来年度のPTAに進言したい。→※3月12日（木）より回収開始となった。
- ・来年度の「地域に学ぶ研修会」は、YKK AP 技術館において黒部製造所長を講師にお迎えして、「地域に学ぶ」の趣旨に合った講話及び AP 技術館の見学を行うことになった。
- ・<学校より>来年度から登校時刻を10分遅くし、7:50～8:10とする。また、不審者対策として式服時の名札の取り付けは自由とする。体操服の記名については、今後の検討事項とする。さらに、通学時の黄色帽子の種類を現在のキャップ型（男子向け）、ハット型（女子向け）の2種類に加え、新たにキャスケット型（市内の制服取扱店に実物あり）も選択可とし、男女にかかわらず種類の選択は自由とする。



寄付・寄贈 ありがとうございました

- 昭和46年度卒業生の皆様から寄付金のご寄付のお申し出を受け、3月15日(日)、校長室で寄贈式が行われました。今後、学校や児童の教育活動推進のために活用させていただきます。昭和46年度卒業生の皆様、ありがとうございました。
- 学校運営協議会の黒田弘樹様より、児童用図書(リユース本)6冊をご提供いただきました。早速、図書室内での閲覧・貸出に活用を始めました。黒田様、ありがとうございました。



<4月の行事予定>

- 8日(水) 着任式、始業式(給食なし) 下校 11:30
更生保護女性会朝のさわやか挨拶運動①
- 9日(木) 2~6年給食開始、中学校入学式
入学式前日準備 2~4年下校 14:00、5・6年下校 15:00
- 10日(金) 入学式(給食なし) 下校 11:30
- 13日(月) 全校5限まで、集団付き添い下校 14:40
3~6年小教研学力調査①(3~6年:国語、4~6年:理科)
身体測定、地区児童会、防犯パトロール隊対面式
- 14日(火) 教員研修のため全校4限まで、集団下校 14:00
3~6年小教研学力調査②(3~6年:算数、4~6年:社会)
視力検査
1・2年交通安全教室
- 15日(水) 全校5限まで、下校 14:40
防パト1年付き添い下校① 14:40
交通安全の日、更生保護女性会朝のさわやか挨拶運動②
聴力検査
- 16日(木) 全校5限まで、下校 14:40
防パト1年付き添い下校② 14:40
内科・運動器検診
- 17日(金) 防パト1年付き添い下校③(最終) 14:40
委員会発足
- 20日(月) 教員研修のため全校5限まで、下校 14:40
- 21日(火) 3~6年交通安全教室
- 22日(水) 更生保護女性会朝のさわやか挨拶運動③
尿検査
- 23日(木) 6年全国学力・学習状況調査(国語・算数)
尿検査(予備日)
- 24日(金) 学習参観、学校説明会、PTA総会、学級懇談会 いずれも午後開催
にこにこの日
6年全国学力・学習状況調査児童質問紙オンライン
- 27日(月) 教員研修のため全校5限まで、下校 14:40
- 29日(水) (祝) 昭和の日

昭和の日・・・激動の日々を経て、
復興を遂げた昭和の
時代を顧み、国の将来
に思いをいたす日

<5月の主な行事予定>

- 8日(金) 1年親子歯みがき教室、給食試食会
- 11日(月) 新入生歓迎集会
- 12日(火) 教員研修のため全校4限まで、集団下校 14:00
- 13日(水) 1~4年遠足、5・6年「地域に学ぶ研修会」
- 15日(金) 5・6年市小学校連合体育大会(中央小学校にて)
- 18日(月) // 予備日
- 28日(木) 家庭訪問①(吉田・荒俣・大開・六天)
- 29日(金) 家庭訪問②(出島・飛驒・飯沢)
- 30日(土) 全校登校日(弁当持参)(6月1日(月)振替休業日)**
6年「黒部川総合水防訓練」への参加 全校5限まで、下校 14:40
- ※予定は変更することがあります。